

若手会員の会 活動報告

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jws/welnet/>

(若手会員の会からのお知らせはホームページにも掲載しています)

第42回若手会員の会 運営委員会報告

若手会員の会運営委員 山本 元道 (広島大学)

Minutes of the 42nd Meeting of the WELNET Steering Committee

日 時：平成22年4月21日(水) 12:00～13:00
場 所：東京ビッグサイト(東京国際展示場, 春季全国
大会開催会場) 会議棟 601 会議室
出席者：委員長, 副委員長ほか運営委員, 計22名

去る4月21日(水), 平成22年度春季全国大会の開催にあわせて, 若手会員の会運営委員会を開催しました。参加委員の自己紹介の後, 昨年度(平成21年度)下半期の会計, 活動状況, 今後の活動計画などに関して, 審議・報告がなされました。以下に, 主な内容をお知らせします。

1. 平成21年度下半期活動報告および審議事項 (委員長: 山本)

1.1 第41回運営委員会

日時・場所・出席者:

2009年9月10日(木), 於 徳島大学工学部
(秋季全国大会開催会場), 19名

1.2 平成21年度秋季全国大会イブニングフォーラム 「第9回若手の研究ポスターセッションと交流会」

日時・場所・出席者:

2009年9月10日(木),
於 徳島大学工学部(秋季全国大会開催会場),
発表者35名, 参加者約80名

報告: 年々, 回を重ねる毎に活発になっており, 本年度も大盛況であった。引き続き, 秋季全国大会に合わせて開催する予定である。

ポスター発表賞:

参加者の投票による結果, 以下の3名に贈呈した。

堀江祥平氏(広島大学)

「摩擦攪拌点接合における塑性流動現象の解明」

辻村吉寛氏(大阪大学)

「定電圧アークの基礎的数値解析」

伊藤真介氏(大阪大学)

「原子炉内圧力容器におけるシュラウドヘッドの溶接変形予測」

1.3 研究会・見学会(新日鐵エンジニアリング)

日時・場所・出席者:

(研究会)

2009年10月6日(火), 於 新日鐵エンジニアリング(株) 研究棟, 15名

(見学会)

2009年10月7日(水),
於 新日鐵エンジニアリング(株) 羽田空港拡張プロジェクト・富津工場, 16名

内容: 若手会員および開催企業の研究に関する講演6件(川人洋介(大阪大学), 山本元道(広島大学), 寺崎秀紀(大阪大学), 木村文映氏(新日鐵エンジニアリング), 宮坂史和(大阪大学), 箱田利秀氏(新日鐵エンジニアリング), 各30分)および建造現場の見学会。

参加費:

無料(講師4名および若手参加者の交通費を

若手会員の会運営委員会から支出した)

報告：若手講師と賛助員企業の研究者・技術者との交流、溶接学会で活発に活動いただける企業若手研究者・技術者の発掘・支援になり得る活動である。初めての試みではあったが、開催企業からの評価も非常に良く、今後、各賛助員企業での若手研究者・技術者の発掘・支援のために積極的に展開する予定である。開催内容等は各賛助員企業の要望に応じてフレキシブルに対応し、学会活性化を目的とした活動を行っていく予定である。

1.4 基礎セミナー（東海支部「第16回溶接技術講習会」との共催）

日時・場所・出席者：

2009年12月9日（水）、
於 名古屋市工業技術研究所、30名

内容：東海支部開催の技術講習会への講師派遣（宮坂史和（大阪大学）、川人洋介（大阪大学）、佐藤裕（東北大学）、山本元道（広島大学）、川上博士（三重大学）、各70分）。

費用：講師5名の交通費を若手会員の会運営委員会から支出した

報告：地方支部活性化の一助になり得る活動である。支部幹事および参加者からの評判も非常に良く、今後、各支部の要望に応じてフレキシブルに対応し、各支部活動支援のために積極的に受け入れる予定である。

1.5 第5回日韓若手シンポジウム

日時・場所・出席者：

2009年11月26日（火）、
於 韓国济州島、40名

内容：日韓若手研究者の研究に関する講演10件（日本側講演者：寺崎秀紀（大阪大学）、瀬知啓久（鹿児島県工業技術センター）、西川宏（大阪大学）、山本元道（広島大学）、佐藤裕（東北大学）

費用：日本側講演者5名の交通費を若手会員の会運営委員会から支出した。

報告：若手研究者・技術者の国際交流活動の一助となる活動である。次年度以降、日中韓交流へと展開される予定であり、若手会員の会のより積極的な活動が求められている。

1.6 研究会・見学会（九州支部主催 第2回若手グループ研究会・見学会との共催）

日時・場所・出席者：

2010年1月13日（水）、14日（木）、
於 日立造船（株）有明工場、42名

内容：若手会員の研究に関する講演4件（森園靖浩（熊本大学）、後藤浩二（九州大学）、山本元道（広島大学）、中谷光良氏（日立造船）：内九州支部2件、各40分）および企業の見学会。

参加費：

無料（講師2名および若手参加者の交通費を若手会員の会運営委員会から支出した）

報告：若手講師と地方の教育者・研究者・技術者との交流、地方支部活性化の一助になり得る活動である。地元参加者からの評判も非常に良く、今後、各支部での若手研究者・技術者の発掘・支援のために積極的に展開する予定である。開催内容等は各支部の要望に応じてフレキシブルに対応し、地方支部の活性化を目的とした交流・共催行事の開催を行っていく予定である。

2. 平成21年度下期財務報告（会計担当：寺崎先生）

上記行事に関する支出および収入に関して報告がなされた。

3. 第6回日韓若手シンポジウムについて（佐藤先生）

2010年4月22日（木）全国大会3日目に開催予定であり、多数のご参加をお願いしたい旨、報告された。

4. 富山県工業技術センターでの研究会・見学会について（寺崎先生）

担当の寺崎先生からの以下の提案内容を審議し、承認された。

日時・場所：

2010年5月27日（木）14:00～17:00（研究会）、
28日（金）9:00～13:30（見学会）、
於 富山県工業技術センター（富山県高岡市）

内容：北陸支部および公的機関での若手研究者・技術者の交流・活性化。講師および若手参加者の交通費を支出予定。

5. 広島県工業技術センターでの研究会・見学会について（門氏）

担当の門氏からの以下の提案内容を審議し、承認された。

日時・場所：

2010年8月5日（木）9:00～17:00（研究会）、

6日(金)9:00～12:00(見学会),

於 広島県産業科学技術研究所(広島県東広島市)

内容:中国支部および公的機関での若手研究者・技術者の交流・活性化.講師および若手参加者の交通費を支出予定.

6. 編集関連報告(編集担当:田代先生)

若手に関するこれまでの記事掲載状況が報告され,今後の掲載予定・執筆分担について決定した.

7. 次期運営委員会体制について(委員長:山本,次期委員長:寺崎先生,次期副委員長:西川先生)

若手会員の会運営委員会の平成22・23年度運営体制について,山本から次期委員長・寺崎先生(大阪大学)の推薦がなされ,承認された.

若手会員の会運営委員会の平成22・23年度運営体制について,次期委員長・寺崎先生から以下の提案がなされ,承認された.

委員長:寺崎秀紀(大阪大学),副委員長:成田竜一(三菱重工業)・西川宏(大阪大学),会計:門井浩太(広島大学),編集:荻原寛之(大阪大学),ML&広報:三上欣希(大阪大学),日中韓担当:山本元道(広島大学)・瀬知啓久(鹿児島県工業技術センター)・門格史(広島県工業技術センター),春季イブニングフォーラム担当:尾崎仁志(三重大学)・木坂有治(新日鐵エンジニアリング),秋季ポスターセッション担当:田代真一(大阪大学)・野村和史(大阪大学)・松原敏夫(徳島県工業技術センター)

西川先生(ML・広報担当,次期副委員長)から,オブザーバー制(これまで若手会員の会運営委員会でご活躍いただいた諸先輩にオブザーバーの形でご協力いただく形式)の提案がなされ,承認された.

8. 今後の活動予定

8.1 第6回日韓若手シンポジウム

日時・場所:

2010年4月22日(木)9:00,

於 東京ビッグサイト

8.2 富山県工業技術センターでの研究会・見学会

日時・場所:

2010年5月27日(木)14:00～17:00(研究会),

28日(金)9:00～13:30(見学会),

於 富山県工業技術センター(富山県高岡市)

8.3 広島県工業技術センターでの研究会・見学会

日時・場所:

2010年8月5日(木)9:00～17:00(研究会),

於 広島県産業科学技術研究所,

6日(金)9:00～12:00(見学会),

於 広島県内企業

共催:広島県立総合技術研究所 西部工業技術センター 生産技術アカデミー

若手会員の会からの講師派遣を5名予定しています.参加ご希望の方は,下記担当者までご連絡ください.

広島県立総合技術研究所 西部工業技術センター 生産技術アカデミー 担当:門格史

Tel:082-420-0537 Fax:082-420-0539

Mail:sgagijutsu@pref.hiroshima.lg.jp

8.4 平成22年度秋季全国大会イブニングフォーラム

日時・場所:

2010年9月8日(水)秋季全国大会2日目,

於 日本大学工学部

本年度も,若手の研究ポスターセッションと交流会を予定しています.ポスター発表賞も準備していますので,特に学生の皆様の積極的なご参加をお待ちしています.

8.5 研究会・見学会等の開催

公的機関,賛助員企業,地方支部などで,各種開催希望案がありましたら,寺崎(委員長)までご連絡ください.

8.6 平成23年度春期イブニングフォーラムの実施案について

開催希望アイデアがありましたら,寺崎先生(委員長)までご連絡下さい.

以上,基本的な活動事項は決定していますが,特に若手会員の皆様および地方支部・賛助員企業の皆様からのご要望・ご意見,研究会等の開催希望などをお待ちしています.

最後になりましたが,平成20・21年度の本会委員長を仰せつかり,皆様の温かいご協力を得て2年間の活動を実施することができました.本誌面をお借りして,厚く御礼申し上げます.今後の溶接・接合分野は,若手技術者・研究者の活動・交流の活性化無くして成り立たないと思っています.本会の活動が,企業,公的機関,大学等教育機関を問わず,また東京・大阪地区や地方を問わず,若手の皆様が日本全国また世界へとその活動・交流の場を広げていただく際の一助になればと,心から願っています.今後も,若手会員の会に,幅広いご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます.